



R8.TASP研修会



(保育・指導要録のための発達評価シート)
～幼児期の適応行動の把握と個別支援計画への方向付け～

【TASPとは？】

TASP(タсп:Transitional Assessment Sheet for Preschoolers)は、保育園・幼稚園・認定こども園の「要録」作成の際に、客観的な基準で子どもの発達を評価できるシートです。

【客観的な発達の評価とは？】

TASPは、開発にあたって、就学前に見られた子どもの発達の特徴と、就学後の不適応行動の関連について、10年に渡って4,000名以上の子どもたちを保育園から中学校まで追跡調査をしました。こうした大規模な調査によって、一般的な子どもの特徴と比べて、発達障害特性を把握し、その後の学童期以降のリスクを、大規模データを基に予測することが可能です。

従来の保育士・幼稚園教諭の文章による記述と併せることで、より客観的に子どもの発達を評価することができるツールです。

【今回の研修会で学ぶことは？】

OTASPを活用して、どのように子どもの状態像を把握していくのか、演習を行いながら進めていきます。TASPは簡単に実施でき、支援の方向性を考えることができます。

○県内の機関より、TASP活用に関する実践報告をいただきます。地域での実践について理解を深めることができます。

【日時】 令和8年11月3日(火・祝)13:00～16:30

※12:30～受付開始

【会場】 下北文化会館 大集会室 (むつ市金谷一丁目10-1)

【対象】 青森県内の保育士、幼稚園教諭

児童発達支援センター及び児童発達支援事業所職員、障害児相談支援 等

【定員】 30名程

※定員になり次第、受付を終了いたします。ご了承ください。

※定員を超えた際には、お断りする場合があります。その際は、こちらからご連絡いたします。

【講師】 青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科 准教授 田中尚樹氏

【受講料】 無料



【申込締切】令和8年10月23日(金)

【お申込み方法】

☆下記よりお申込みください☆



<https://forms.gle/ewKgzx2k13R6XpR58>

【後援(案)】むつ市・大間町・東通村・佐井村・風間浦村

【問合せ先】青森県発達障がい者支援センター「ステップ」 Tel ☎:017-777-8201